
おわりに

本調査検討会では、採算性の問題等から民間事業者によるブロードバンドサービスの提供が期待できないブロードバンド空白地域の解消に向け、自治体等が整備を進める地域公共ネットワークと新しい無線アクセスシステムの組み合わせにより、安価にブロードバンドを提供する方策の検討を行うとともに、本検証試験システムによる通信試験等を通じて、無線アクセスシステムの技術的条件の把握や、導入に向けた課題と方策などについて言及した。

技術試験では、通信エリアを把握するための伝送特性や気象条件による影響を把握するための変動特性、各無線装置のネットワークセンターでの遠隔監視、利用者間におけるセキュリティの確保等に関して確認を行ったほか、技術試験モニターにより、利用者宅における無線 LAN 環境の状態を確認し、本検証試験システムの利点や課題について検討を行った。また、本調査検討会で提案した地域公共ネットワークと無線アクセスシステムを組み合わせたモデルシステムの有用性を確認するため、技術試験モニターや公開通信試験においてアンケート調査を実施し、今後の指標としてまとめた。

一方、本検証試験システムの構築及び運用にあたって明らかとなった課題を挙げ、解決のための方策について言及したほか、モデルシステムを自治体が導入する場合の必要事項についてまとめた。

本調査検討会を終えるにあたり、この報告書の内容が今後のデジタル・ディバイド地域解消のための足がかりとなることを願うほか、本調査検討会の開催趣旨と同様、北海道、東北、中国及び四国管内においても、デジタル・ディバイド解消のための無線 LAN、WiMAX 等ワイヤレスブロードバンドシステムの活用の在り方、導入方策等に関する調査、検討が実施されていることから、これらの結果や提言についても、ブロードバンド空白地域を有する関係自治体において広く活用され、一日も早い情報格差のない社会の早期実現を期待したい。

最後に、本調査検討会において、多大なご尽力を頂いた委員の皆様をはじめ、本検証試験システムの構築にあたってご協力いただいた小松市様、関係各位、並びに本調査検討会の運営に御尽力いただいた北陸通信ネットワーク株式会社様にこの場をかりてあらためて謝意を表する次第である。

ブロードバンド空白地域解消のための無線アクセスシステムに関する調査検討会
事務局